

VSLAによる小口医療保険の“押しつけ効果”に関する 行動経済学的研究

Crowding-out Effects of VSLA on Micro-health Insurance

福井 清一 (Seiichi FUKUI)

当該研究では、加入率が低く運営が困難となっているカンボジアにおける小口医療保険制度を実施可能にするために、現行の医療保険のスキームをどのように変更すれば良いか、どのような特性を持つ潜在的保険需要者がより高い支払い意思額を表明するか、という点について、実験的手法を用いた現地調査による情報収集と計量経済学的分析とにより明らかにしようとした。具体的には、2019年度に実施した現地調査により収集したデータに離散選択モデルを適用し、代替的な保険スキームに対する潜在的保険需要者の保険に対する支払い意思額を推計したうえで、①別途実施した調査から保険の属性ごとの実施費用を推計し、費用便益分析を行うことによって実行可能性を検証する、②支払い意思額とそれを規定する要因（家計特性、リスク選好、時間選好、VSLAへの加入など）との間の関係を分析することにより、潜在的保険需要者の異質性と支払い意思額との関係を明らかにすることである。

2020年度における成果は、以下のとおりである。

1. Eliciting Preferences for Micro Health Insurance in Rural Cambodia: a discrete choice experiment

Seiichi FUKUI, and Hiroki WAKAMATSU

概要

この論文では、カンボジアの人口の40%を占める貧困層向けに考案された医療保険とは異なる属性（医療サービスを提供する機関、提供する医療サービスの種類、運営・監視システム、など）を持つ代替的な保険スキームを考案し、それに対する需要を離散選択実験の手法と混合ロジット・モデルの考え方を援用したコンジョイント・モデルにより評価した。一方、保険制度を実施するための費用を別途推計し、保険評価額と比較することにより、実施可能性を検討した。

分析結果は、保険によるサービスに、個人の開業医の医療サービス、慢性的疾病の治療、眼科・歯科の外科治療を含め、現行の運営・監視システムを改善すれば、潜在的保険需要者による代替的保険に対する支払い意思額は費用を上回り実施可能であることが明らかとなった。

なお、この論文は大阪産業大学経済論集 第22巻 第2号に掲載された。

2. Alternative Micro Health Insurance and Heterogeneous Preferences: A Discrete Choice Experiment in rural Cambodia

Seichi FUKUI ,and Hiroki WAKAMATSU

概要

この論文では、カンボジア農村を対象に、潜在的保険需要者の選好の異質性、他の保険機能を有する制度（貯蓄組合など）の影響を考慮したうえで、上述の論文と同じ調査結果を用い、潜在的保険需要者に受容可能な代替的保険スキームへの支払い意思額を推計した。

このために、本論文では、離散選択実験の手法を用いて、支払い意思額に対するリスク選好、時間選好、および、貯蓄組合への加入・不加入などの属性の影響を検証した。

その結果、貯蓄組合への加入は負の影響を、現在バイアスは正の影響をおよぼすことが明らかとなった。前者は、貯蓄組合への参加が、小口保険への参加に対してクラウディング・アウト効果を持つこと、後者は、現在バイアスが保険加入を促進することを示唆している。

なお、この論文は、国際開発学会 2020 年度春季大会で報告し、現在、修正版を国際学術雑誌に投稿中である。